

広報 やまこし

1976
5/1
第95号

発行 新潟県古志郡
山古志村役場
電話 竹沢局
17 23 78

印刷 大川印刷株式会社



民俗芸能の保存と継承 4月18日 (種中体育館)

世帯数	969	人口	4,026人
出生	8人 (男4・女4)	死亡	2人 (男2・女0)
転入	11人 (男5・女6)	転出	77人 (男35・女42)
3月中の住民移動			

- ### 主な記事
- ことしの村の予算
 - 役場事務嘱託員決まる
 - 農業共済一年の歩み
 - 出張所廃止・事務処理に協力を
 - 小・中高教員異動
 - 救急業務応援協定改正



お知らせ

救急車は 責任者の指示により要請を

救急業務は小千谷市との応援協定により、村内の竹沢及び梶金地域内で発生した救急事故について救急車の出動をお願いしていましたが、このたび次のとおり協定の内容が改正されました。

○応援する区域
山古志村の全域

○応援の要請
災害、交通事故等により傷病者が生じまたは急病の発生により、他の方法で救急できない場合、救急車の出動を求めることができず、要請できる者は個人ではなく、村長、警察及び医師に限る。

○救急業務応援協定改正
られていすから、事態が生じたときは役場または、駐在所や医師の判断と指示によって要請することになります。なお、小千谷市の特別事情がある場合は応援できないときもありますから、ご注意ください。

○応援に要する経費
昭和五十一年度は、救急車出動一回当り五千円を山古志村が小千谷市へ納付します。このほか、出動中の事故や損害も相当額を負担することになっていきます。

献血 五月十四日(金)

○種芋原出張所前
十時～十二時まで

○山古志村役場前
十三時～十五時まで

一、梶金仲間商店前 午前十時ころ
二、虫亀農協倉庫前 午後一時三十分ころ
三、楡木部落入口 午後二時ころ

マイクロバス送迎

一、梶金仲間商店前 午前十時ころ
二、虫亀農協倉庫前 午後一時三十分ころ
三、楡木部落入口 午後二時ころ

春の大掃除を しましょう

家庭児童相談室を設置

この度、家庭における児童の福祉の向上を図る施策の一環として家庭児童相談室を三古社会福祉事務所に設置しました。こどもに係わる問題ならどんな小さなことでも相談に応じます。子どものしあわせのためにも一人でも悩まず、お気軽に御相談ください。

自衛官募集中

○応募資格
採用予定日の一日現在十八才



昨年十二月発足した、山古志民俗芸能協会ではかねてから計画を進めていた芸能発表会を、去る四月十八日種芋原中学校体育館で開催しました。これは、地域に昔から伝わる民俗芸能の保存と継承、芸能を通じた地域間の親睦、融和をはかるとともに、より明るい村づくりをめざし開かれたものです。当日は、発表会らしく昔から引継がれてきた大久保かぐらを始め、唄に踊りにと、また、東日本優秀演奏発表会で優秀奨励賞を得た池谷小学校のプラスチックバンドが演奏するなど多彩をきわめました。出演者は八十余人、各地区から集った観衆で会場はうめつくされ有意義に幕を閉じました。村内に埋蔵されている風俗芸能などは、郷土の貴重な資料でもあります。これからの発掘や継承は長く後世に伝えるためにも、この会を積極的に進めて行きたいと関係者は意気込んでいます。

役場職員異動

四月一日付けで、次のとおり役場職員の異動がありました。

▽竹沢保育所 (種芋原保育所)
小川 和

▽本採用
虫亀保育所 保育母 石原 明美
竹沢保育所 保育母 松田絵美子 (長岡)
竹沢保育所 保育母 五十嵐静子 (虫亀)
種芋原保育所 保育母 青木美英子 (池谷)

▽退職 (三月三十一日付け)
竹沢診療所 峰村 京子

教育・環境づくりに重点

予算総額九億九千九百二十三万円

- ☆ 昭和五十一年度の予算は、一般会計七億八千三百四十三万円、特別会計二億一千五百八十九万九千円あわせて九億九千九百二十三万円が三月定例村議会で議決され、新年度のしごとがはじまりました。
- ☆ きびしい社会情勢のなかで、村勢発展のために必要な事業のみに止めたもので、東竹沢統合小学校校舎建設費一億二千二百万円が計上されたため、前年当初予算に比べ三六パーセントの伸びとなりまりました。
- ☆ 歳入では、地方交付税三億七千三百万円をはじめ、国県支出金および村債等依存財源が主体となり、村税二千八百九十二万円を見込んでおります。
- ☆ このため、執行にあたっては、実質的な事業をすすめ、不用不急なものを整理し経常費の節約をはかり、効率的な財政運営につとめることになっております。

東竹沢統合小学校 建築工事に着手



学校の教育費は、このほか学校の維持管理や運営費などを前年並みに見込んでおり、社会教育費として青年、婦人団体の補助金十二万円、文化財保護のため民俗資料館一部改築工事費三百万円が計上されました。

生活環境整備のため 村道改良舗装を促進



道路の整備は重点施策として、

- 虫亀間内平線改良 一五〇〇
- 山古志中学校 通学道路改良 三〇〇〇
- 種芋原虫亀線改良 三〇〇〇
- 種芋原虫亀線舗装 二六〇〇
- 虫亀間内平線舗装 五〇〇〇
- 山中、竹沢線舗装 五〇〇〇
- 種芋原中学校 通学道路舗装 二〇〇〇

なお、冬期交通確保のため、新

錦鯉総合センター 建設工事の実施



盤整備事業としてことしの農林道整備事業は次のとおり計画され、村車農道も十路線の補助金三百万円が計上されました。

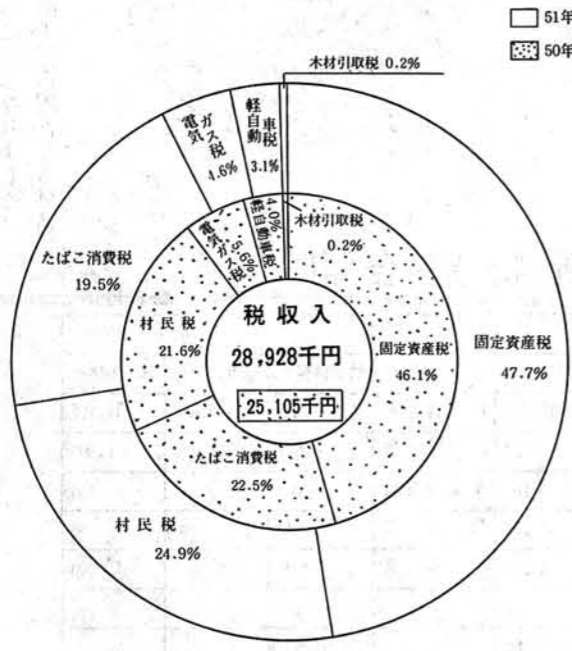
福祉の向上に 三十%の伸び



社会福祉対策として前年より実施的三十パーセント多い九千六百九十万円が計上されました。

- 老人対策費 一千九百九十五万円
- 老人居室整備資金貸付金 六百万円
- 心身障害者福祉費 百万円
- なお、ことしの新規事業として青少年非行化防止のため、生活環境の浄化・明るい村づくり及び指導研修会を実施する費用として二

税はこんなになっている



健康で明るい生活をするために 住民が健康で明るい生活ができるように保健衛生費は十三パーセント多い二千四百一十一万三千円が計上され

- 竹沢 竹沢 三百四十二万円
- 虫亀 〃 三百三十八万円
- 母子衛生費 三百二十四万円
- 予防費 三百二十四万円
- 環境衛生費 四百四十二万円
- 成人病検診費 四百四十五万円



消防施設整備の促進

計画的に整備をすすめている防火貯水槽の建設事業は、ことし種芋原、虫亀、池谷および木籠地内に建設を予定し、団員のヘルメット等の購入も計画し、消火体制の強化をはかるため一千五百二十七万円が計上されました。



闘牛場に 給水施設を計画

商工費は、観光費を主体に前年より三百六十二万円多い五百八十五万円が計上されました。これは山古志闘牛場に飲料水がないために観光客は勿論関係者に不便を与えていたもので、水源地からポンプアップにより導水して場内に給水する計画です。

- 村観光協会 二十万円
- 村観光協会 六十万円
- 闘牛飼育組合 六十五万円

総務費

一般管理、文書広報、財政、会計、企画、交通安全、税務、戸籍住民基本台帳、選挙、統計および監査委員会費あわせて一億七千五百十三万円が計上されました。(前年比十三、二%)

議会費

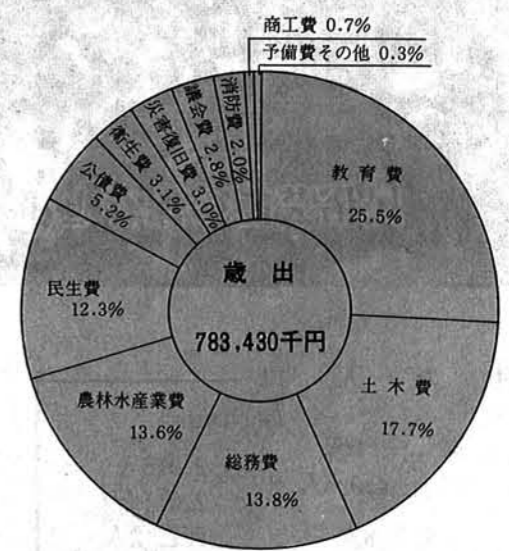
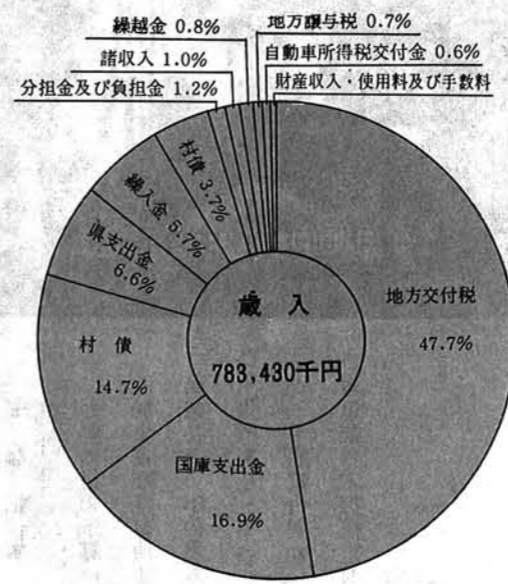
議会議員の報酬、旅費、調査研修費および事務局の給与等議会運営に要する費用は前年より十一パーセント多い二千二百六十六万円が計上されました。

労働費

労働関係費として、雇用対策、失業対策等二十五万四千円が計上されました。このうち出稼組合には前年通り十五万円の補助金が見込まれました。

その他

道路、河川及び農地等の災害復旧費として二千三百七十八万円、また、過疎債等の起債の元利償還金として公債費四千四百万円、予備費二百三十万円が計上されました。



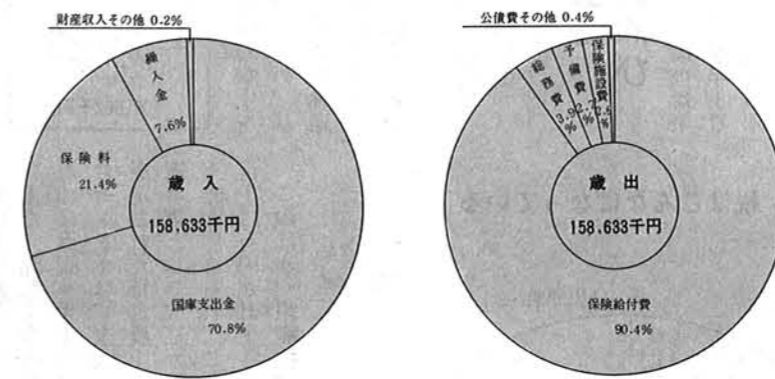
たにロータリー車の更新を計画しています。

特別会計

国民健康保険事業

国民健康保険特別会計は、一億五千八百六十三万三千円で、前年当初に比べ十九、四パーセントの伸びとなりました。
事項別明細はグラフの通りですが、不況と物価高のなかで、住民の保険思想が向上し、療養給付や諸費は年々増額しています。
これに伴って国庫負担ならびに一般会計・給付準備基金から多くの繰入れを見込んでいますが、保険料も十一パーセントの引き上げをすることになりました。保険料は一世帯平均四万四千三百円となる見込みです。

国民健康保険特別会計



診療所特別会計

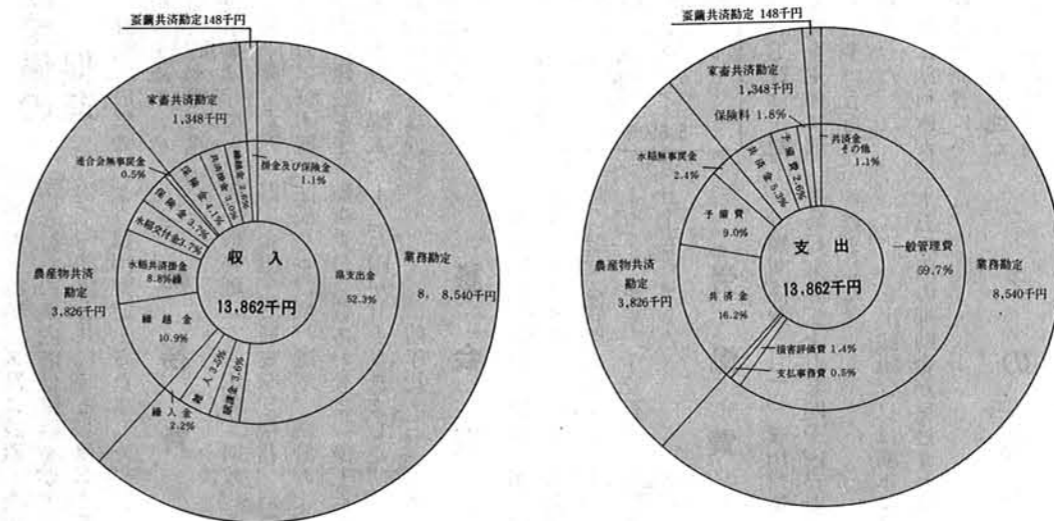
歳入	診療所			歳出		
	竹沢診療所	虫亀診療所	種芋原診療所	竹沢診療所	虫亀診療所	種芋原診療所
診療収入	9,186	2,650	13,200	総務費	11,237	3,638
使用料及び手数料	20	2	20	医療費	5,527	1,595
県支出金	4,271	1,315	3,166	基金積立金	100	30
財産収入	100	30	100	公債費	40	20
繰入金	3,426	1,380	4,260	予備費	200	100
繰越金	1	1	1			
諸収入	100	5	80			
計	17,104	5,383	20,827	計	17,104	20,827

診療所事業

竹沢・虫亀・種芋原の三診療所の特別会計の総額は、四千三百三十一万四千円が計上されました。内容は表のとおりですが、運営費の不足分を一般会計から九百六十六万円を繰入れして、住民の健康管理にあたることにしています。

農業共済事業

農業共済事業特別会計



昨年から村で実施して来た農業共済事業は、順調な歩みをつけていますが、ことしの予算は十八、三パーセント引き上げて一千三百八十六万二千円が計上されました。事項別明細はグラフのとおりです。



農業共済

1年の歩み

水稻共済



農業共済事業は、移譲してから一カ年が経ちました。この間にけるおもな事業は次の通りです。(昭和五十年実績)

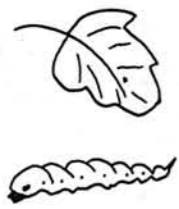
役場事務嘱託員決まる

ことしの役場事務嘱託員は四月一日付けで各部落の区長さんにお願いで決まりました。年ごとに繁雑多岐にわたる役場のしごとが円滑に実施できるよう、文書の伝達や徴税及び部落と役場との連携等いろいろ協力をお願いすることになって

氏名	年齢	部落
佐藤比呂吉	(五十八)	種芋原
田中五郎	(六十五)	虫亀
青木誠司	(四十七)	池谷
畔上勝太郎	(五十七)	木谷
星野三男	(四十七)	村木
星野一男	(五十九)	野村
川上春太郎	(七十四)	丁
高野清平	(六十四)	平田
岡本二郎	(五十九)	間蒲
五十嵐弘	(四十七)	菅中
関野英一	(三十八)	山夫
高野多七	(五十七)	油谷
川上孫一	(三十九)	桂保
関上儀三郎	(六十四)	大久保
小川上秀雄	(五十八)	倉籠

氏名	年齢	部落
種芋原	(五十八)	種芋原
虫亀	(六十五)	虫亀
池谷	(四十七)	池谷
木谷	(五十七)	木谷
村木	(四十七)	村木
野村	(五十九)	野村
丁	(七十四)	丁
平田	(六十四)	平田
間蒲	(五十九)	間蒲
菅中	(四十七)	菅中
山夫	(三十八)	山夫
油谷	(五十七)	油谷
桂保	(三十九)	桂保
大久保	(六十四)	大久保
倉籠	(五十八)	倉籠

蚕繭共済

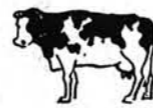


引受箱数 一五箱
総共済金額 二、八四、八〇円
三割以上の被害箱数 三箱
対象件数 三、五四戸
主な被害名→軟化病

水稻収支関係	
収入	(円)
加入者負担掛金	1,131,241
国負担掛金	765,239
計	1,896,480
支出	(円)
加入者へ支払った共済金	107,600
無事もどし金	273,763
計	381,363
収入支出差引残金	1,515,117円

引受面積 三、九五アール
戸数 七〇戸
総共済金額 三、三、〇〇〇円
三割以上の被害面積(共済金支払対象面積) 〇アール
共済金支払額 一〇七、六〇〇円
被害件数 三戸
主な被害名→穂首いもち

家畜共済



加入頭数 二六頭
戸数 六戸
総額 三、三〇、〇〇〇円
死傷事故件数 四件
病傷 二五件
支払共済金額 七六、九三〇円
主な病傷名→気管支カタル、皮膚病、尿石症等

家畜収支関係	
収入	(円)
加入者負担掛金	857,351
保険金	636,925
計	1,494,276
支出	(円)
加入者へ支払った共済金	726,930
保険料他	537,999
計	1,264,929
収入支出差引残金	229,347円

建物共済



加入件数 五五戸
総共済金額 〇、二五万円
加入者負担共済掛金総額 一、二五、九三〇円
○ 本年度は該当災害なく共済金の支払はありませんでした。なお、建物共済についてはすべて連合会の保険責任です。

訂正

四月号七ページ「不用な犬は保健所へ」を訂正します。現在のところ保健所では不用犬の取扱いは行っておりません。

出張所廃止による 事務処理について協力を

○ 種芋原・虫亀・東竹沢の各出張所は、五月末日限りで廃止され、六月一日からは出張所で行っていた事務は、原則としていっさいを役場で取扱うことになりました。

○ 関係する部落のかたは、不便を感じられることでしょうか、次の要領によりご協力ください。

○ 戸籍・住民票関係の届出は 直接住民課へ

出生届 十四日以内
死亡届 七日以内

転入・転出届は十四日以内
婚姻届・離婚届その他各種届出は届出により効力が発生
印鑑登録も同じ

なお、届出に際しては必ず印鑑持参のこと。

○ 諸証明は住民課で交付。

次の謄・抄本類の交付請求は住民課へ来て手続きすることになっていますが、旧出張所管内のかたは当分の間交通の便などの都合により来られない時は、交付手数料を添えて区長または電話で依頼してください。

- 戸籍の謄・抄本
- 住民票の写し
- 印鑑証明書

(印鑑登録証提示のこと)
種芋原地区は連絡員が取次ぎ

などから連絡員が種芋原公民館(旧出張所)に勤務しているの

で、書類の取次ぎをいたします。

○ 現金の収納・支払について
従来、出張所管内のかたは出張所を経由して現金の取扱いがなされていましたが、六月からは直接収入役が収納、支払をいたします。

ただし、必要により、委任を受けたものを行うこともありま

五月一日から

戸籍の手数料改正

このたび、戸籍手数料が改正され、五月一日から戸籍の謄・抄本の手数料は枚数に関係なく一通につき二〇〇円になりました。

戸籍謄・抄本一通	二〇〇円
除籍謄・抄本一通	三〇〇円

特産と自然を観光に



昨年五月二十六日公社設立以来まもなく一周年を迎えようとしています。この間主な事業としては開牛を十二回開催し、村内はもとより村外及び遠い他県からも多数の愛好者が訪れ盛会となりました。

本年も五月二日(第一日曜日)より毎月第一第三日曜日に開催し、十一月第一日曜日で最終会といたします。

民宿は昨年四戸が認可を受け、五十人余りの泊りができるようになりましたが本年は六戸の認可が見込まれておりこれで百五十人位の宿泊が可能となります。

又村民生活の中で昔から用いられて来たワラ工品が現在忘れられようとしているが古き時代をしのんだ民芸品として各地の観光土産物として見出され、四月一日には種芋原特産センターで開催された展示即売会の模様をNHK TVで放映され、次いで九日湯之谷村商工会主催で山古志民芸品展をゆのたに荘で開催され、共に大変好評を博し九日は四百余点の出品を得ました。

錦鯉市場は四月十六日より開設され本村特産の錦鯉が産業と観光のエースとして期待をよせられています。長い冬を屋内で飼育されて

昭和50年度末 小・中高等学校教員人事異動

赤十字 運動月間 はじまる

5月1日から1カ月間

学校名	出		入	
	職名	氏名(年令)	職名	氏名(年令)
種芋原小学校	校長	伊藤 征男(49)	校長	若井 清一(50)
〃	教諭	関 壽(43)	教諭	米山 忠彦(24)
〃	〃	本間 佳徳(29)	〃	庭野 三省(24)
虫亀小学校	教諭	中俣 恒(28)	〃	山崎 拓二(25)
〃	〃	中沢富美子(28)	〃	渡辺 深雪(24)
〃	〃	本多 博行(28)	〃	南雲 茂(28)
池谷小学校	教諭	稲荷 巖(44)	講師	山口又一郎(25)
〃	〃	山田 記代(27)	教諭	水野 洋子(22)
竹沢小学校	教頭	田中 俊彦(45)	教頭	中条 辰男(47)
〃	教諭	本間 シツ(28)	教諭	井又 純子(24)
〃	〃	八木 正孝(27)	〃	熊倉 忠夫(25)
〃	〃	長谷川洋子(27)	〃	小堺 和子(25)
〃	養護助教	木村 京子(22)	養護助教	鈴木すみ子(21)
〃	主事	武田百合子(20)	主事	川合 勝一(18)
梶木小学校	教諭	茂呂 光夫(44)	教諭	斎藤 正子(22)
〃	〃	近藤 伯(28)	〃	佐藤 清詩(25)
〃	養護助教	川上 昭子(24)	養護助教	佐久間厚子(21)
芹坪小学校	教諭	桜井 正示(37)	教諭	佐藤 謙介(23)
〃	〃	丸山 和子(27)	〃	佐藤 道子(22)
〃	〃	〃	〃	布村 洋子(30)
種芋原中学校	教諭	山賀 健三(45)	教諭	阿部 健一(41)
〃	〃	田中 和男(28)	〃	吉村 正史(25)
〃	〃	寺塚理英子(27)	〃	伊与部陽子(22)
山古志中学校	教諭	竹野 蓮(45)	〃	藤井 晃(42)
〃	〃	長谷川捷郎(44)	〃	高橋 健吉(43)
〃	〃	関 紀美(27)	〃	石田 朝美(44)
〃	〃	〃	〃	砂山 専一(41)
長岡農業高校	教頭	岡塚 治夫	教頭	氏江 省吾
山古志分校	助教諭	石部 久	教諭	池野 敏夫

赤十字は人道博愛を目標として世界の各国と手をむすび人類のしあわせと世界の平和のために活動

を続けている奉仕団体であります。赤十字事業の経費のほとんどは赤十字社員が毎年三〇〇円以上を納めていただく社資によって賄われています。

五月は社員増強、社費募集の月間です。一人でも多くの方に赤十字をご理解いただき、赤十字社員にご加入下さいますようお願いいたします。

(住民課)

村の鎮守様 書残しの記

佐竹 軍 記

迎田と、下村の境に溪流が流れている。昔はうっ蒼とした樹木に覆われ、滝には大蛇がいたと住民に恐れられた場所だとい

今は普通の溪流で周囲は段々田圃で人家も近く、何処でも見られる田園風景そのものである。

その一段高い迎田側の田の窪地に「地藏菩薩」の御堂がある。

祭主は迎田の辰藤事川上恭治氏

その菩薩は大同年間に建立されたという伝承があるため川上氏のご案内を願って調査したのは二年許りの春まだ浅く田に氷が張っている早朝の事だった。

大同年間といえは約千二百年前にもなる。弘法大師が真言宗を弘布し始めた頃にあたる。確証を得れば山古志郷貴重な歴史の一頁になる事から祈るような心で石仏体を奉抱し御堂の空地で限なく調査したが、彫刻文字も古文書も発見する事は出来なかつた、川上恭治氏には随分ご苦労をおかけした。

一つの峰を越えれば、首沢の部落だといふ溪底の斜面、道もさだかではない川添いの窪地に祭祀されている不動様、これが間内平の助藤さんの内鎮守であ

迎田と、下村の境に溪流が流れている。眼下は目のまわるような大滝となつて落下水爆飛沫をあげている処、地名を聞きおとしたが山奥の感を深くする。この不動様も年詳不明であるがコンクリートで改築したという神殿で、ご本体は神幣であった。周囲は葛や雑林に覆われている。前にもふれたが助藤さんでは間内平の鎮守様境内より、更に高い山に大日如来が祭祀されている事は既に述べたが、二丁野の星野達雄氏の内鎮守や、虫亀、種芋原方面に更に詳細な調査をした

い処もある。尚、観光と民俗に

関連する数々の物件を系統だつて調査したいと思つて、種芋原婦人会有志が試みた土産物に適當な細い午券のその後の状況、都会人の喜ぶ山楼、卵の花、萩やこぶし、など経費の比較的にかからず努力の奉仕で出来るもの育成について住民の方々に訴へたいのが私のこれからの仕事と思つている。成否は別として目下出版社の依頼によって山古志郷にある牛の角突を書いているが、資料集めに苦心している。次回から二十村の名称起源考」をのせたい。

母の日

子どもたちの健康

それがママへの

何よりの

プレゼント



昭和51年度賃金協定 決まる (賄給せず)

男 (1日)	4,000円
女 (1日)	3,200円
耕うん機	
ロータリ (1日)	18,000円
ティラー (1日)	15,000円